

まちづくり活動助成 **地域“魅力”アップ部門** “はじめの一步”部門  
**まちづくり活動提案書**

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	ドキュメンタリー映画「堀川物語～川と人と町～」の製作		
団体名	名古屋活動写真		
提案の活動を行う地域	名古屋市域		
提案の内容	<p>徳川家康の命による清須越により、名古屋城の築城とともに運河として開削された堀川は、その後の城下町として発展する名古屋の水運、大動脈として経済を支え、沿岸には尾張藩の年貢米貯蔵、水運管理施設、豪商が立地した。また尾張藩の催事の場であり、庶民の生活文化の場でもあった。その堀川は戦後まで名古屋の物流を担ってきたが、戦後の高度成長、モータリゼーションの発達に伴い、物流機能を失うとともに、水質の悪化が進んだ。近年、この貴重な都市河川の水質浄化、親水空間の拡大、活用、堀川の歴史や文化に関する活動が活発になり、市民主体又は官民協働による様々なイベントが実施され、沿岸の活用も進みつつある。</p> <p>しかし、まだ水質浄化、沿岸の整備また堀川自体の活用、歴史や文化への理解は十分ではなく、堀川をハード、ソフト面での「まちづくり」につなげていくためには、堀川の歴史、文化、川の記憶をより市民に訴える必要がある。</p> <p>1 テーマ                  堀川 ～川と人と町～                  1610年の誕生から現在までの時代とともに変わる堀川の姿、人と町との関わり、市民の誇りと愛着を醸成するまちづくりの基盤である都市河川としての堀川の意義、魅力と未来への展望を描く。</p> <p>2 映像化する手法と素材                  堀川を様々な分野から研究する学者、専門家はもとより、市井の語り部のインタビューと資料、画像を織り交ぜ、わかりやすく映像化し、30分程度のドキュメンタリー作品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堀川誕生の由来、エピソード</li> <li>・ 水運とともに栄える名古屋の街の歴史と文化</li> <li>・ 大動脈、賑わいの場から、役割を終え、水質悪化により市民から「やっかいもの」扱いされる堀川</li> <li>・ 水質浄化、親水空間としての利用拡大、歴史、文化の伝承など様々な活動を展開する市民</li> </ul>		
活動期間	平成25年4月～平成26年3月	助成金交付申請額	50万円

## 2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・地域との連携や協力が得られる活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感 が得られる活動か</li> </ul>
<p><b>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</b>  <b>※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当団体は 23 年度にドキュメンタリー映画「名古屋空襲を語る」を製作、24 年度には同映画の書籍化でまちづくり活動助成を得て、戦災の前後をとおした市井の人々の名古屋の街への誇りと愛着、戦後の復興（まちづくり）への思い、未来への思いを映像化した。そして、その歴史、思いを少しでも多くの市民と共有し、次世代に継承すべく、DVD、書籍の公共施設等への配布、上映会・講演会の開催をしてきた。</li> <li>・ 今回、提案の対象とする堀川も、経済的に名古屋のまちづくりを支え、歴史的、文化的にも、また現在も、様々な視点から多様な市民の活動の場にもなっている。</li> <li>・ 水運としての役割を終えた堀川が、今、貴重な都市河川として、市民活動の場としての新たな役割を持ちつつあるなか、わかりやすい映像で、市民に堀川の魅力を発信し、活動への理解を求めることは、今後の市民活動、まちづくり活動の拡大、活性化に貢献するものと考えている。</li> </ul>	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創意工夫にあふれた活動か</li> <li>・ 地域性を活かした個性豊かな活動か</li> <li>・ 新しい視点やアイデアがあるか</li> </ul>
<p><b>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堀川に関しては、過去の貴重な又はエポックメイキングな絵、写真などの素材が多くある。</li> <li>・ 堀川には現在、水質浄化、川又は沿岸を利用した地域活動、歴史や文化の研究、伝承など様々な市民活動が展開されている。</li> <li>・ これらの素材と、学識経験者に限らず、様々な市民の語りを織り交ぜ、わかりやすい映像作品とすることは、より多くの市民に、堀川の歴史、魅力、そして今日的な位置付け、役割、まちづくり活動への理解を深め、参画促進が期待できる。</li> <li>・ 映像で記録するという事は、一過性のイベントではなく、時間、空間を超えて、多くの市民にわかりやすく訴求することができる。</li> <li>・ 映像作品が歴史的なアーカイブとして保存可能な状態となる。</li> </ul>	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容が具体的になっているか</li> <li>・ 事業予算は妥当か</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当団体は、過去に名古屋の歴史、文化、市民活動などを映像作品としてまとめあげ、上映会及び講演会、DVD 配布などを行ってきて、ノウハウ、実績がある。</li> <li>・ すでに多くの団体、関係者の賛意を得て、市民と協働して今回の提案を実現できる体制が整いつつある。また本年は「納屋橋 100 年」で多くの素材、協力者を確認することもできた。</li> <li>・ 協力者のほとんどがボランティア参加で、予算内で確実に成果を出すことができる。</li> </ul>	
時期	活動内容
平成 23 年 5 月 6～11 月 12 月 1 月～	企画着手 出演者、映像、写真、資料の募集、収集、取材、映像化 編集、DVD 化(1,000 枚) DVD の配布、市内公共施設での講演会と上映会を実施 (上映会、講演会には出演していただいた方に来訪いただき、参加者と意見交換する予定。)

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
インタビュー、 素材の映像記録	DVテープ	@600 × 100本	60,000
	機材レンタル バッテリー 一式	@15,000 × 30日	450,000
映像、写真、資 料の映像化	スタジオ賃料	@20,000 × 20日	400,000
	DVDプレス	1000枚一式	400,000
	DVDケース	@10 × 1000本	100,000
映像、音楽編 集、DVD作成	取材謝礼		100,000
	交通費		100,000
講演会、上映会	スタッフ人件 費	監督、撮影、照明、音楽等のスタ ッフはボランティア(無償)協力	
計	都市センター助成金	500,000円	1,650,000
	自己資金 1,150,000円	(協賛金から 400,000円)	

審査基準④ 発展性  
 ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか  
 ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- 当団体が過去に製作した「開府 400 年名古屋の山車まつり」、「七間町橋弁慶車お囃子の復活」、「名古屋空襲を語る」、「名古屋城物語」なども、名古屋の歴史、文化、まちづくりに関わるものであり、多くの市民、マスコミからも注目を浴び、上映会・講演会には多くの参加者があった。
- 今回提案の「堀川物語」も、製作段階で多くの市民との協働が実現するほか、成果物である記録映像は、一過性のイベントと異なり、2次利用が可能である。今までの活動と同様に、少しでも多くの市民に訴求し、テーマを共有するため、単なる上映会ではなく、製作に関わった方の参加を得て講演会を実施する予定である。また公共施設、各種団体へのDVDの配布も予定している。

審査基準⑤ 活動実績と主体性  
 ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか  
 (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)  
 ・具体的にどんな熱意を注いでいるか

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。

※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

**団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。**

名古屋活動写真は、2008年1月に「円頓寺活動写真」として発足しました。

同年に地域まちおこし映画「歪屋」を、市民のボランティア参加で製作し、市民協働による映像製作のプロジェクトが、地域の魅力発信とまちおこしに有効な手段となることを認識した。

2010年(H22)には、清須越400年を記念して実施された「大山車まつり」の記録映画を、各地の保存会などの市民団体等の協力を得て、「開府四〇〇年名古屋の山車祭り」(H22)として製作し、上映会、講演会を行った。この活動の中で、市民、団体の方の地域への思い、収集した素材、研究等から、次のテーマを見出し、名古屋に誇りと愛着が持てるような映像作品の製作を市民との協働により行う活動を継続することとした。その後、「名古屋空襲を語る」(H23都市センター補助)、「七間町橋弁慶車お囃子の復活」(H23愛知県補助)と「名古屋城物語」(H24愛知県補助)の記録映画を製作し、上映会、講演会を行うことで、名古屋の歴史、文化などの魅力発信をしている。また昨年は、「名古屋空襲を語る」の書籍化し(H24都市センター補助)、異なる媒体による情報発信も行った。各種団体、施設からの上映依頼もあり、対応している。

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とします。